



読字英原田 鏡

No. 824

2017/ 3/15

発行所  
日本中国友好協会  
〒110-0055 東京都千代田区  
神田1-1-1807201室日中友好協会  
岡山支部  
〒703-8256  
岡山市東区3-8-30 514  
TEL:086(272)-3010  
郵便番号1100  
01250-0-3835日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8911  
倉敷市遊島中央1-8-4  
(宮地方)  
TEL/FAX:086(445)-2711日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rizhong.biz/>  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp

## 第17回 中国問題文化講演会に52人

倉敷支部では、支部結成以来「中国問題文化講演会」に精力的に取り組んできました。去る3月4日、その17回目の講演会を開きました。

演題は「中国くちよつと興味深い歴史のお話」、講師は倉敷支部の理事犬飼繁氏(元高校教諭)でした。講演会会場の受付に最新号の日中友好新聞・日本中国友好協会の

しおりや加入申込書を置くなど、日本中国友好協会のこととより理解していただけるよう気を配りました。

犬飼氏の講演は、クイズ形式で参加者が楽しみながら、中国の歴史の勉強ができるもので、とてもよくわかった。もつと中国の歴史を知りたい。正しい歴史認識が今こそ必要」という感想が多く聞かれました。

閉会のあいさつの中で、当支部副理事長の大本芳子さんは、日中関係は今や最悪と言われている。それを打ち破り不再戦・平和友好を前進させるためには、中国を色目で見るとはならず、正しく見ていくことが、今求められています。

私が日中友好運動に参加するようになった動機は、倉敷市と中国鎮江市との調印式に出席するため同市を訪問した時の鎮江市の職員さんと

の会話からです。僕が子どもの頃、やんちゃを言って泣いた時、おばあさんがいつも「日本軍来るよ」と僕を脅していました。日本軍は泣く子も黙

した。日本軍は泣く子も黙るほど恐れられていたのですよ」と話してくれました。その恐ろしい日本人の子どもを引き取って命がけで育ててくれた中国の養父母をはじめとする人々。そのおらかな人間味あふれる中国の人々は、悪いのは日本帝国主義、皆さんではない」と、あの戦争の被害者、加害者をきちんと区別されています。私はこれを聞いて心の底から中国が好きになりました。

私は帰国後、迷わず日本中国友好協会に入り、以来日中友好の前進のため頑張っています。中国脅威論を打破しなければ、友好運動も進みません。今日のように大勢の方が、日本中国友好協会の諸行事に参加して正しく中国を認識してください。中国を認識していただくことが友好を一層前進させることとなります。これからのいろいろな行事のご案内をさせていただきます。

## 岡輝公民館の中国語講座、新老師の自己紹介

はじめまして、孟令禱です。皆さんのおかげで、今年の春から、岡輝公民館の中国語講座を担当させていただくことになりました。中国河北省の出身であり、現在は岡山大学に留学しています。2012年に交換留学生として、初めて岡山に参りました。当時から岡山は緑が多く、静かなところであり、とても住みやすく、研究に集中できる場所だと思いました。また、お茶を習ったり、うらじゃに参加したり、多くの親切な方々と出会いました。そして、2013年に日中友好協会岡山支部のお世話になり、中国語講座を担当させていただきました。それをきっかけに、熱心に中国語を勉強される方、中国に大変興味をお持ちの方、両国の友好に貢献して下さる方々と出会い、感動しました。今後は、自らのささやかな力で、両国の友好に貢献できれば幸いです。これからもよろしくお願い致します。



ますので、ぜひご参加ください。また本日本お渡ししました日中友好新聞のご購読・友好協会への入会もぜひお願いいたします。

ます。」と訴えました。なおこの講演会では新しい会員さんが増えました。

## 倉敷支部の中国語講座 8人の参加で発足

倉敷支部の中国語講座を発足しました。

第1、3水曜日

18時30分より20時

くらしき健康福祉プラザ

3月1日(水)、

3月15日(水)、

4月5日(水)、

4月19日(水)

月2回 月会費1,500円

講師 廣本レイ先生

楽しい講座になりそうなので  
周りの方に勧めてください。

## 岡山支部の中国語講座

第31期(2017年4月～2017年9月)

## 受講生 募集!

入門クラス・初級クラス

月曜日 午後1時半～3時半

岡西公民館

初級クラス

土曜日 午後1時～3時

岡輝公民館



# 保育所に「国旗」「国歌」、反対

(前号からのつづき)

子どもの権利条約第29条に、ぼくらが学ぶとき、国は次にことを守ってほしい。(a) ぼくらの人格、才能、心や体の能力を、ひとりの人間として、のばすようにする。(b) ぼくら子どもの、すべての“やっ

ていいこと”や“やりたいことがやれること”を大事にしよう、と自分から思うようになるよう、学べる。(c) お母さんお父さんは大切だ、自分が自分であることは大切だ、言葉は大切だ、あることを大切に思う気持ちは大切だ。」とあります。

子どもの願いが、つぎつぎと書かれています。人間として、やっつけいいことや、やりたいことができるよう、学びたいことが、学べるように、国は守ってほしいと、うたえられています。

幼児のねがいは、おしつけることではない、国旗や国歌を知らないうちに、上から与えることではない、といっています。

第31条に、遊び、遊ぶ、遊べ、遊んじゃえ!...みんなでいろんな楽しいことをしたり、本を読んだり、絵をかいたり、なにかつくったり、スポーツをしたり、好きなようにしていいんだ...国はそれを大事にして、応援してほしい。」とい

ついています。

このすばらしい要求に、大人たちは国は、答えてやらねばなりません。わたくしは、この美しい要求を正しく、みんなが受けとめたいと思います。保育園に国歌、国旗はなじみません。

第32条に、夫人のために働くなんて。ぼくらが、あぶない仕事、勉強のじやまになる仕事、心や健康にわるい仕事、“いい”、“わるい”がわからなくなるような仕事なんかを、することがないように、護つてほしいんだ。」とあります。

これは切実な要求です。小さいころから親のために働かされてる青少年少女が、あとをたちません。国は実態をつかんで助けねばならないと思います。国旗、国歌よりずっと前にすべきことが、たくさんあります。

第36条に、金もうけに子どもを使うな、つまり、ぼくらの幸せのじやまになるような、子どもを使つたお金もうけから、国はぼくらを護らな

きやいけない。どんな形でも、どんなやり方でも。」と訴えています。

第38条に、戦争なんて、おきてほしくないんだけど。もし戦争がおきたら、国際人道法に合わせて、ぼくら子どもを必ず護つてほしい。国は、15歳にならない子どもが、戦争

## 第3回 「孟子」を読む

公孫丑篇 (上)

弓田 盛樹

公孫丑(こうそんちゆう)とは孟子の弟子の一人で、公孫丑篇は孟子と弟子の公孫丑の問答集となっています。主には、人の心の在り様を分析した内容です。

公孫丑は問います、「先生が齊の宰相になられたら覇者王者になること間違いありません。しかし、重責故に、動揺したり押しつぶされたりしないのですか」と。孟子は、「私は40歳になって、不動の境地に至った(=動揺することはない。)」と答え、「浩然の気を養うことがその方法だ」と述べます。

「浩然の気」とは、天地にみなぎっている、万物の生命力や活力の源を意味します。浩然の気を身に付けることで、物事にとらわれない、おおらかな心持ちでいることができると孟子は説きます。孟子の考える浩然の気は4つの側面(四端)から成り立ちます。

- ①惻隱の心(かわいそうだと思うこと)
- ②羞惡の心(悪を恥じること)
- ③辭讓の心(謙遜であること)
- ④是非の心(何が正しいかを判断すること)

孟子は、「惻隱の心は、仁の始まり。羞惡の心は、義の始まり。辭讓の心は、礼の始まり。是非の心は、智の始まり」と述べています。孟子最大の特徴は、四端は全ての人に生まれながら備わっているものとしている点で、性善説の基盤となる考え方です。

生まれながらに備わっているということは、自ら率先して行おうと思えばできるということです。それでも、自身の考えだけに基づいて物事を行って行けば独善的な行為になってしまう。自身の判断のみに頼るのは危険なことです。そのため、孟子は古代の王の行いや孔子の言説に学ぶことの大切さを強調しています。

貧困解消のために活動をするときに批判されるのが、「かわいそうだから」という動機です。貧困者は自分の責任で貧困に陥ったのではないから、かわいそうというのは自己満足ではないかというわけです。しかし、かわいそうと思うだけでは「惻隱の心」になりません。四端は四角形のように全てつながっているからです。かわいそうと思う背景には、悪を憎む気持ちがあり、貧困を生み出す社会悪を許せない気持ち、適正な支援をすることがあります。

「浩然の気」とは自身の利己心、私欲を超えた行為によって生まれます。そして、そうした有徳行為の正しさは揺るぐことがないため不動心に達することができます。

つづく

を手伝ったりしないように、できることはゼーんぶしなきゃいけない。」と言っています。

第43条に、子どものための大人の集まり、委員会をつくる。世界中から10人の大人はなんで集まるの?ぼくらも地球の人間だもん。」と言っています。

今回、厚生労働省が意見公募されたことをわたくしは感謝し、子どもの発達にあわせて結果がわかるように議論を重ねてくださることを期待

しております。

可能なかぎり、その間の議論の様子をお知らせください、省の職員のみなさんと、保育所につながっている父母の意見も知りたいと思います。

最後の54条は、アラビア語、中国語、英語、フランス語、ロシア語及びスペイン語をひとしく正文とするこの条約の原本は、国際連合事務総長に寄託する。」とあります。いま世界中が激しくゆれうご

よんでいるとき、上記の6言語をひとしく正文とする決断は、他の条約をこえて大きな意義を有するものだと思います。

竹内和夫

この文章は竹内先生が、2月27日に厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課企画調整係に意見として郵送・提出されたものです。



次回の新聞発送作業は3月23日(木)午後1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

石川 小林 和  
小田 田 製  
曾田 竹内  
竹内 井  
坪井 井  
光 井